



中京大学生協
2025年度
卒業生アンケート報告

ページ 内容

- 1 調査概要
- 2 大学時代の経験
- 3 大学時代に経験できなかったこと
- 4 大学時代のSDGsの関わり
- 5 大学生活は充実していましたか？
- 6 大学生活を一言で表すと!?
- 7 大学生から次のステージに向かう卒業生
- 8 卒業前後の不安や困り事
- 9 卒業生が見た大学生協
メッセージ集

調査概要(速報値)

目的

- 卒業生の大学時代の経験や教訓を後輩に伝え、より良い大学生活を送れるようサポートする
- 卒業される組合員の声を大切に、今後の大学生協の事業活動の改善に取り組む

方法

- Googleフォームを活用したインターネット調査
- 卒業予定学年の大学生協学生組合員へのメール連絡。チラシ、HPでの呼びかけ

時期

- 2025年10月～2026年3月

回答

- 東海地区で2025年度卒業予定の大学生協組合員のうちメール受信可能な方 24,975人
- 回答者は東海地区でのべ3000人見込み／中京大学の対象人数等は備考参照

備考

- 卒業前後の卒業生の生活スタイルを踏まえ、3つの時期とテーマを設定し、調査を実施予定

	第1回	第2回	第3回
時期	2025年 10月1日～3月31日	2026年 2月2日～3月31日	2026年 2月24日～3月31日
テーマ	大学生活の経験	大学生活の教訓	卒業前後の困り事
内容	卒論・卒研で多忙期の ため簡単に大学生活 の経験を振り返る内容	卒論・卒研終了後 大学生活を振り返り自 由記述中心の内容	就職準備、新生活準備 に関わる内容 大学生協への評価
対象人数	2,782人	2,797人	2,782人
回答数	95	33	20
回答率	約3.4%	約1.2%	約0.7%

2025年度卒業の大学生活と社会情勢

年	4年制	6年制	2年制	社会の出来事や大学生活の出来事
2020		1年生		4月～コロナ禍:「緊急事態宣言」 ・大学の授業はオンライン化 ・部活・サークル・アルバイトの行動制限
2021		2年生		東京オリンピック・パラリンピック コロナ禍ワクチン接種開始
2022	1年生	3年生		ロシアによるウクライナ侵攻 円安、資源高により物価高騰 生成系AI(チャットGPT)登場
2023	2年生	4年生		5月 コロナ5類移行 イスラエル・ハマス軍事衝突 野球＝大谷翔平選手、将棋＝藤井聡太竜王の活躍
2024	3年生	5年生	1年生	1月・9月 能登半島 地震・豪雨災害 パリオリンピック・パラリンピック 野球＝大谷翔平選手50-50達成／新紙幣発行
2025	4年生	6年生	2年生	大阪・関西万博／トランプ関税／高市内閣発足 イスラエル・ハマス間のガザ和平交渉合意 『令和の米騒動』・政府備蓄米放出／物価高続く

2: 大学時代の経験

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 - ②大学外かつ国内での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 - ③大学外かつ国外での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
 - ④～⑥あなたが大学生活で1番・2番目・3番目に「時間を費やした」事柄を教えてください。【複数回答】
- ※上記について以下選択肢からひとつを選ぶ
 勉学・研究／試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)／試験合格や資格取得を目指した稽古・練習／アルバイト／社会人活動(収入を得て働く)／所属する学内団体への活動(部活・サークル等)／所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)／趣味を充実させる／余暇を充実させる(遊び)／身体を鍛える／特に思いつかない／他

■ 大学時代に経験したこと・経験の時期

所属者数(人)	経験内容(%)	経験無	経験有合計	経験有合計						卒業までに経験する予定	
				1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
95											
学内	クラブサークルの加入	23.2%	76.8%	63.2%	41.1%	37.9%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	学会や研究会での発表(オンライン)	83.2%	16.8%	2.1%	7.4%	7.4%	8.4%	0.0%	0.0%	1.1%	
	学会や研究会での発表(対面)	66.3%	33.7%	3.2%	6.3%	11.6%	14.7%	0.0%	0.0%	7.4%	
	怪我や病気で大学に行けない期間(数日～10日程度)	80.0%	20.0%	5.3%	7.4%	5.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
	怪我や病気で大学に行けない期間(10日間以上)	91.6%	8.4%	0.0%	2.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
学外(国内)	インターンシップ(数日程度)	29.5%	70.5%	2.1%	8.4%	58.9%	10.5%	0.0%	0.0%	3.2%	
	インターンシップ(1週間以上)	71.6%	28.4%	0.0%	2.1%	16.8%	2.1%	1.1%	0.0%	2.1%	
	短期間のアルバイト(単発:数日程度)	47.4%	52.6%	24.2%	24.2%	15.8%	24.2%	1.1%	0.0%	4.2%	
	長期間のアルバイト(1カ月以上)	8.4%	91.6%	69.5%	74.7%	71.6%	71.6%	0.0%	0.0%	2.1%	
	国内旅行	7.4%	92.6%	58.9%	68.4%	66.3%	67.4%	0.0%	0.0%	4.2%	
ボランティア活動	49.5%	50.5%	11.6%	21.1%	21.1%	13.7%	1.1%	0.0%	5.3%		
学外(国外)	海外旅行	47.4%	52.6%	5.3%	11.6%	14.7%	28.4%	0.0%	0.0%	13.7%	
	語学研修	86.3%	13.7%	4.2%	4.2%	2.1%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	
	留学	82.1%	17.9%	7.4%	4.2%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	海外でのインターンシップ	93.7%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	海外でのアルバイト	92.6%	7.4%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
海外でのボランティア	91.6%	8.6%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

■ 大学生活で一番時間を費やした事柄

大学生活で一番時間を費やした事柄/回答者数(人)	95
勉学・研究	20.0%
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	10.5%
試験合格や資格取得等を目指した稽古・練習	3.2%
アルバイト	28.4%
社会人活動(収入を得て働く)	0.0%
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	14.7%
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	1.1%
趣味を充実させる	10.5%
余暇を充実させる(遊び)	9.5%
身体を鍛える	0.0%
特に思いつかない	0.0%
他	2.1%

■ 大学生活で時間を費やした事柄総合順位

大学生活で時間を費やした事柄【総合順位】	換算P	順位
勉学・研究	18	2
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	6	6
試験合格や資格取得等を目指した稽古・練習	1	9
アルバイト	29	1
社会人活動(収入を得て働く)	0	11
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	6	6
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	1	9
趣味を充実させる	10	4
余暇を充実させる(遊び)	14	3
身体を鍛える	3	8
特に思いつかない	0	11
他	7	5

(もっとも時間を費やした事柄=3P、2番目=2P、3番目=1Pとし総合換算ポイントを算出)

参考資料: 東海地区の暦年の変化<大学時代に経験したこと>

※東海地区内の暦年の結果(単位: %)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
クラブ・サークル加入率	79.6	68.8	73.1	74.0
学会や研究会での発表(オンライン)	32.8	30.2	23.5	19.0
学会や研究会での発表(対面)	39.8	48.0	46.1	49.0
ボランティア活動(国内)	48.0	42.2	47.1	48.0
海外旅行	37.5	47.6	49.3	53.0
語学研修	14.2	15.0	16.1	16.0
留学	14.2	16.2	16.0	16.0

3: 大学時代に経験できなかったこと

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はありますか？【ある/ないの選択式】
- ②経験しておきたかったけどできなかった経験について(その1/その2/その3)【選択式】
- ※選択肢: 海外留学・語学研修、海外旅行、国内旅行、クラブ・サークル活動、ボランティア活動、アルバイト、資格取得、インターンシップ、恋愛、人間関係の幅を広げる、その他
- ③経験できなかった主な要因は何ですか？【質問②その1~その3について最大の要因、第2の要因、第3の要因を質問【選択式】
- ※選択肢: コロナ禍で経験の機会が奪われた、時間に余裕が無かった、お金の余裕が無かった、「そのうちやろう」と先延ばしにした、タイミングが合わなかった、このアンケートで「経験したかった」と思い出した、その他

■ 大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はある？



中京大学の卒業生の **52%** があると回答しました

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験の内容

経験しておきたかった内容:合計	(延人)	順位
海外留学・語学研修	27	1
海外旅行	23	2
国内旅行	3	9
クラブ・サークル活動	18	4
ボランティア活動	5	7
アルバイト	5	7
資格取得	23	2
インターンシップ	1	10
恋愛	14	5
人間関係の幅を広げる	12	6

■ 経験できなかった要因

経験できなかった要因【総合】		順位
コロナ禍で経験できず	6.6%	6
時間に余裕がなかった	20.7%	1
お金の余裕がなかった	16.7%	3
気持ちに余裕がなかった	19.6%	2
先延ばしにした	14.4%	4
タイミングが合わなかった	12.8%	5
このアンケートで思い出した	6.0%	7

経験その1~その3それぞれ「最大の要因=3P、第2の要因=2P、第3の要因=1P」とし、換算Pを算出。換算P合計における割合を示している

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験のある先輩からのアドバイス

社会人になってから海外に行くのはそんな簡単なことではないと思います。大学生のうちにちゃんと単位を取得していれば海外に行くチャンスは社会人より必ずあると思います。計画的にお金を貯めてぜひ行ってみてください！(スポーツ科学部卒)

一度踏み出してみれば続けられるようになるので、やろうか迷ったことがあればとりあえずやってみるべきです！あの時間がある時にやっておけば…と就活や4年になってから思います。(経営学部卒)

もし、やりたいことがあるのならカレンダーや自分の手帳に目標として刻んでみてください。そうすると目標に対してのやる気が上がり、いつか叶うことができます。(国際学部卒)

お金はあった方がいい。その分経験が積める。アルバイトも経験を積むことができるが、お金を持っている学生は、私たちが働いている時間も大学生にしかできないような経験を積んでいる。(現代社会学部卒)

海外経験はとても大切なことで、大学生で時間のある内に夏休みの3ヶ月くらいは必ず海外留学に行くべき。就活での強みにもなる。お金は親に借りたりバイトを頑張っても行くべき。(現代社会学部卒)

大学4年間で何の仕事に就きたいかを考え、それを達成するための行動をした方がいい。(心理学部卒)

4: 大学時代のSDGsへの関わり

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

あなたはSDGsにおける関心のある課題に対してどのような関わりをしましたか？

関心がなく何もなかった／関心はあったが特に何もなかった／関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした／関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした

SDGsについてあなたが起こしたアクションについて

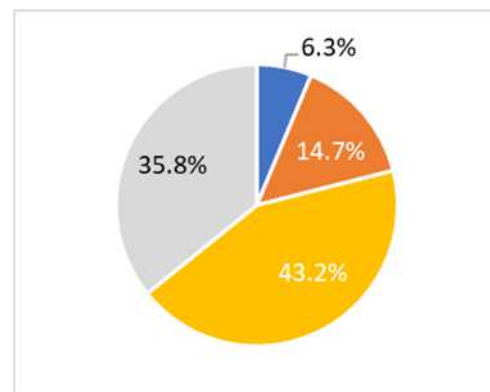
①17のテーマ(複数回答可)

②あなたが起こしたアクションを具体的に教えて下さい(複数回答可)

知識を深めるためのセミナーや学習会に参加/SNS上で自分の意見や考えを発信/署名活動に参加/クラウドファンディングや募金などの資金提供/集会やデモへ参加/就職先を検討する際に重要視した

■SDGsへの関わり

回答者(人)	95		
関心のあるものについて 自分でできる行動を起こした	6	6.3%	
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	14	14.7%	
関心はあったが 特に何もなかった	41	43.2%	
関心がなく何もなかった	34	35.8%	



■どんなテーマに対してどんなアクションを起こしたり行動したか

有効回答者(人)※複数選択	20		
1 貧困をなくそう	6	30.0%	2
2 飢餓をゼロに	4	20.0%	4
3 すべての人に健康と福祉を	3	15.0%	8
4 質の高い教育をみんなに	4	20.0%	4
5 ジェンダー平等を実現しよう	10	50.0%	1
6 安全な水とトイレを世界中に	3	15.0%	8
7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	4	20.0%	4
8 働きがいも経済成長も	3	15.0%	8
9 産業や技術革新の基礎をつくろう	0	0.0%	17
10 人や国の不平等をなくそう	5	25.0%	3
11 住み続けられるまちづくりを	3	15.0%	8
12 つくる責任 つかう責任	1	5.0%	14
13 気候変動に具体的な対策を	2	10.0%	12
14 海の豊かさを守ろう	4	20.0%	4
15 陸の豊かさを守ろう	2	10.0%	12
16 平和と公平をすべての人に	1	5.0%	14
17 パートナリシップで目標を達成しよう	1	5.0%	14



<参考資料>

東海地区での暦年の調査結果より

✓ SDGsに対する行動はこの数年で減少傾向といえます。

東海地区暦年の推移(%)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
関心のあるものについて 自分でできる行動を起こした	8.5	10.4	9.6	7.5
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	24.6	24.6	19	16.9
関心はあったが 特に何もなかった	44.8	38.7	43.7	47.8
関心がなく何もなかった	22.2	26.2	27.7	27.8

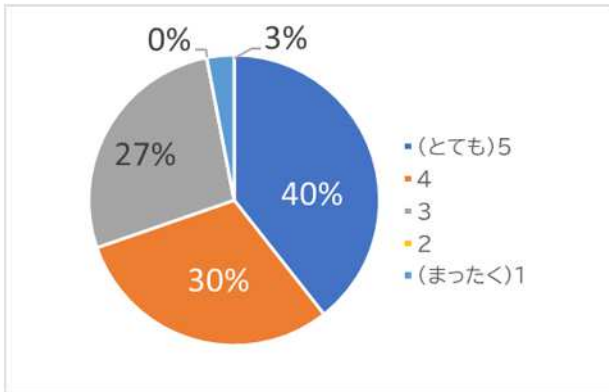
5:大学生活は充実していましたか？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

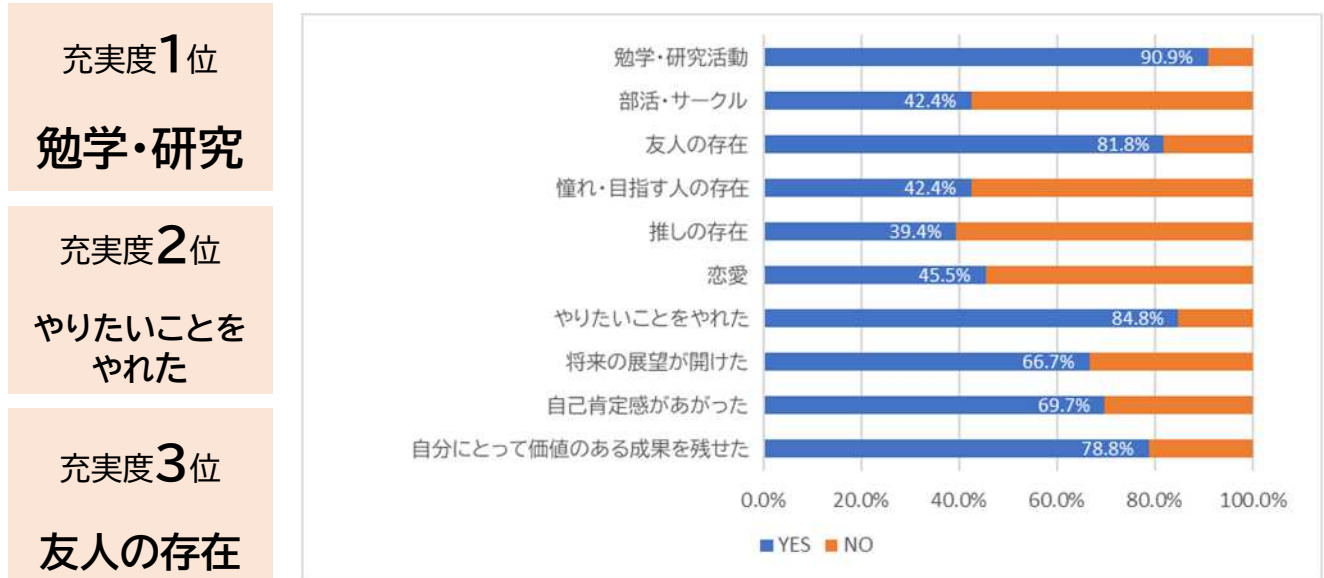
- ①大学生活はどれくらい充実していましたか？(5件法)5とても～1まったく)
- ②以下の事柄においては充実していましたか？YES/NO
 勉学・研究活動／部活・サークル／友人の存在／憧れ・目指す人の存在／推しの存在／恋愛／やりたいことをやれた／
 将来の展望が開けた／自己肯定感があがった／自分にとって価値のある成果を残せた
- ③大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験について具体的に教えてください

■ 大学時代生活はどれくらい充実していましたか？



回答数(人)	人数
(とても)5	13
4	10
3	9
2	0
(まったく)1	1

■ 以下の事柄については充実していましたか？(YES/NO)



■ 大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験・エピソード。そこで得た教訓。

就職活動を通して、自己分析や企業分析をしたり、様々な人と話す機会が増えたことがいい経験になった。 (現代社会学部卒)	9割が就職をする中、大学院に進学をするという選択をしたこと。大学1年生から決めていたため、授業で良い評価を取れるように努力したり、大学4年生になり周りの子が進路が決まり遊んでいる中、勉学に励むことができた。勉強第1優先という学校ではなかったが、環境に左右されずに自分で決めたことを最後までやり遂げることができた。(心理学部卒)	部活動。上下関係のなかで、親しき中にも礼儀ありだと感じた。仲良くして下さる中でも感謝の気持ちは必ず持っていることが大切だと感じた。 (スポーツ科学部卒)
留学を通じて、多国籍の人と関わることができて、価値観が広がった。 (経済学部卒)	自分で考えたりやったりしなければならぬことが増えるため、自分でできることが増えた。 (心理学部卒)	1年間の資格講座に取り組み、国家資格取得へ向けて勉強に励んだこと。工夫次第で時間は有効活用できるということ。『継続は力なり』という言葉をもっと体験した。 (国際学部)

6:大学生活を一言で表すと!?

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活を「ひとこと」で表してください
- ②「ひとこと」で表した背景を教えてください

自分次第	どれだけ授業に真剣に取り組むかも、学業以外を充実させることも、休みにひたすらだらだら過ごすことも、まとまった日数で旅行に行くことも、何もかもが自分次第で決まるから。人生で唯一と言っていいほど、自分の時間を全て自分で決めて使えるということを感じた。(国際学部卒)
挑戦	「初めて」の一人暮らし、自分で選ぶ授業、県外の友達、運動部、恋愛、アルバイト、車校、遠方への突発的な旅行、実習、就活、国試など、初めてを沢山挑戦し、経験し、大人になった。今までこんなに自分の勇気が試されるようなことはなかった。でもそれにも挑戦して、頑張っ、結果よかった。やらない後悔よりやる後悔の方がいいことを知った。私の今の自信は私が積み上げてきたものの現れなんだと思う。(現代社会学部卒)
結	辛いことも嬉しいことも色々な経験が今の自分に繋がっている。(スポーツ科学部卒)
自由	大学生活はこれまでの学生生活よりも自由時間が多いからこそ、自信で時間をどのように使うのかによって、大きく変わるのを感じた。実際に、サークル活動に力を入れて交友関係を広げたり、資格勉強に励み資格を得る、留学に行き様々な文化を学ぶなど、人によって過ごし方が様々で得られるものも様々であったと感じた。長いようであっという間だからこそ、その間に自分がどう行動するかは、自身の豊かさや将来にとってもとても重要であると感じた。(心理学部卒)
拓	苦手だった人との交流が楽しくなった。知識レベルが高い人や外国の友達と交流することで視野が拓けた気がするから。(経済学部卒)
感謝	周りの人に恵まれた大学生活だったと思う自分の人生を豊かにしてくれて多くの知見を授けてくれた、家族や友達、教授やアルバイト先の人達など大学内大学外で関わった全ての人達に感謝したい。(国際学部卒)
進	最初の1年間はあまり熱が入らず、ぼーっとした生活を送っていた気がする。しかし、同じ志を持つ仲間と出会ったり、切磋琢磨するうちに理想の職に就職を決めることができた。「進」にした理由は、大学生活の中での前進でもあるが、社会人になるための第一歩として少し成長することができたと感じたためである。(スポーツ科学部卒)
成長	学業に本気で取り組んだり、4年間同じアルバイト先に勤めて頼られる立場になったり、友人との関わりの中で日々のモチベーションを高めることができたことなど、日々自分が成長していくのを感じることもできたため。(現代社会学部卒)
自分磨き	自分でやらなければならないこと、今しかできないやりたいことなど、自分の成長につながるものがたくさんできるのが大学生だったから。(心理学部卒)

7: 大学生から次のステージへ向かう卒業生

<第3回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

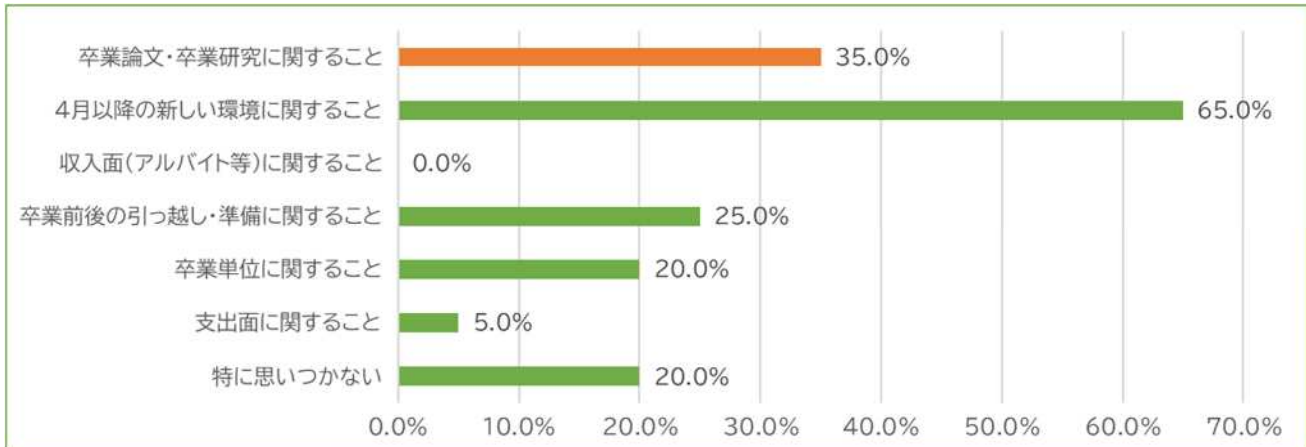
①昨年秋頃から現在、以下の項目で不安を感じたり、苦労したこと(していること)はありますか？(複数選択可)

卒業論文・卒業研究に関すること／卒業単位に関すること／支出面に関すること／収入面(アルバイト等)に関すること／卒業前後の引っ越し・準備に関すること／4月以降の新しい環境に関すること(うまくやっけていけるか、など)／特に思いつかない

②上記回答いただいた事柄について、具体的にどのような不安や苦労したこと(していること)を教えてください。

③「もっとこうしておけばよかった」「事前に知っておきたかった」と思うことがあればご記入ください。

■ 卒業学年の秋から春にかけて不安を感じたり苦労したこと(複数回答)



■ 中京大生の卒業時～社会人生活準備に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
引越し先を決めるのに苦労した。	2月頃から引越し先を探したため、物件がなく12月頃には決めておくべきだった。(国際学部卒)
早起きの習慣がない、週5労働の不安感	早寝早起きの習慣化(経営学部卒)
留学など卒論以外にもやることがあったのでかなりギリギリで仕上げることになりました。もう少し時間があればより満足できる仕上がりになったのにな…	先輩たちがなんとかなるよ、大丈夫！という言葉に鵜呑みにしないこと。私が完成度を上げたかったり真面目な性格でなければ、現状の結果にも満足していたと思いますが、先輩たちの言葉も参考にしつつきちんと自分で計画して取り組めばよかったと思います。(心理学部卒)
卒業単位に関することが心配だった。	ちゃんと単位取れてるか。1個でも数えミスがあったら終わりだから。ダラダラした生活してて、社会人になって上手いくのか。(現代社会学部卒)
単位が足りず留年してしまうのではないかとびくびくした。	もっと勉強を頑張ればよかった。(工学部卒)
一人暮らしをしたことがなく何が必要かわからなくなる	社会に出るために必要な金融知識(経済学部卒)

8:卒業前後の不安や困り事<東海地区の学生の声>

<第3回卒業生アンケート結果>

■ お金に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
実験をするとバイトをする時間が無くなり、金銭的に厳しい	奨学金の申請をすればよかった (国公立・学部卒・理系)
大学院生として独立して生活することを想像すると、扶養内でも可能な限り稼いでおけばよかったと思う	給付型の奨学金があること、それは課税対象ではないが、一定額を超えると保険の扶養から抜ける必要があることなどの社会システムの知識をもっと早く調べておけばよかった(国公立・学部卒・医・歯・薬・看護系)
卒業旅行が多く入り、支出が多かった。就活が忙しい時期にバイトを辞めてしまっており、4年からでは雇ってくれるところが少なく苦労した。	長期バイトを続けておけばよかった。 (国公立立・学部卒・文系)
就活が終わった解放感と卒業旅行などで出費がかさんで、お金の使い方を見直すこと。	定期的に貯金しておけばよかった。もっとたくさん旅行にいけばよかった。派手髪やネイルなど学生のうちにしか出来ないことをやれば良かった(私立・学部卒・文系)

コラム:卒業学年生への奨学金制度について調べるには…

<方法>

①大学窓口相談する

②WEBサイトで情報収集する

(キーワード例:「民間財団 給付奨学金 最終学年」「大学4年生 奨学金 2026」等)

※4月締切の制度も多いのでご注意ください。家計の収入が急に減少した場合は時期に関係なく随時申し込める制度もあります。

■ 社会人生活準備に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
引っ越し業者に頼んだ方が良いのか、それとも自力でやるべきなのかぎりぎりまで迷った。	卒業1年前から荷物を少しずつ減らしておくべき。売ったり、捨てたりして(国公立・学部卒・理系)
引越し費用の相場と実際にかかる費用のギャップへの不安。卒業式に向けての袴が決まらないことへの不安と苦労があった。	先輩たちの引越しの話を聞いておけばよかった。 (国公立立・学部卒・文系)
修士論文を書いていたらいつの間にか3月になっており、3月末の引越しのために業者を探しましたが、かなり高い見積もりを出され、家族に頼りました。修士論文を書き終わった後に自動車学校に通い始めたので、本当に時間がありませんでした。	引越し前後はやることが多いのと、自分の送別会で忙しいので、とにかく早く行動しておけばよかったなと思いました。(国公立・大学院卒・理系)

コラム:大学生協を活用してスムーズな卒業準備を

■一人暮らしに関する情報

[大学生協の引越しプラン](#) / [退居準備お役立ち動画集](#)

[新社会人向けお部屋探し](#)

■社会人になる前に押さえておきたいお金に関する知識

[身近なお金のセミナー](#)

中京大学生協HP
「卒業予定の方へ」



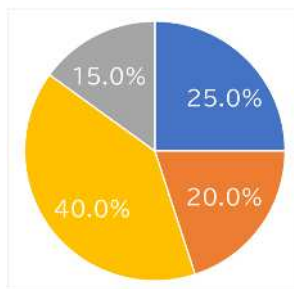
9: 卒業生が見た大学生協

<第3回卒業生アンケート結果より>

【質問内容】

大学生協に対する満足度を教えてください(5件法 5ととても満足～1とても不満)

回答者(人)		20	
(とても満足)5		5	25.0%
4		4	20.0%
3		8	40.0%
2		3	15.0%
(とても不満)1		0	0.0%



中京大学の卒業生における
生協満足度は
2025年度

3.55
でした

【質問内容】

大学生協は「4つの使命」のもと、事業活動を行っています。ご存じでしたか？
知っていた／なんとなく知っていた／今初めて知った

回答数(人)	20	
知っていた	0	0.0%
なんとなく知っていた	4	20.0%
今、初めて知った	16	80.0%



1. 学生・院生・教職員の**協同**で大学生生活の充実に貢献する
2. 学びのコミュニティとして大学の理念と目標の実現に**協力**し、高等教育の充実と研究の発展に貢献する
3. **自立**した組織として大学と地域を活性化し、豊かな社会と文化の展開に貢献する
4. 魅力ある事業として組合員の**参加**を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する

【質問内容】大学生協があつて良かったな、と感じた場面やエピソード、思い出について自由にご記入ください

- ・卒業式の袴のレンタル
- ・自動車学校の予約や、卒業式の袴を予約できたこと。
- ・生協の店が使いやすい
- 入学してすぐの頃、授業で一緒になった子と学食行ってみよう！と話題作りにもなってご飯も食べられたので、助かりました。
- ・個人的には、本を少し安く買えたりしたのも嬉しかったです。
- ・売店でスマホでバーコード決済ができるようになり、お会計に時間がかからなくなったこと
- ・弁当が美味しかったこと
- ・本が安く買える。
- ・大学内で店舗が利用できた
- ・特に学生生活に不便がなかった。インフラ維持のように生協が陰で頑張っていたのだとしたらこの満足度になると思う。でもはっきりわかっているわけではないので4。
- ・車校が安くなったり、大学内での支払いが楽なこと。
- ・教科書を買うと5%引きになること。
- ・教科書が通常よりも安い値段で購入することができた
- ・学食が少しだけ安い
- ・病気で退院後に、共済の受付を親切にいただきました。
- ・お店のラインナップや、割引などの特典、校外の活動(免許など)などどれもあって嬉しいものばかりでした。

先輩からのメッセージ「入学する前の自分へ」

大学選びや親への金銭的な負担に、本当にこの選択で良かったんだろうかと悩みますが、4年間を終えて、これが最適解だったのだろうと思います。4年をかけて少し大人になりました。地元の友達にも変わったと言われます。迷わなくていいです。後悔しなくていいです。前を向いて、楽しく、充実した生活をしてください！

選んだ道を正解にするかどうかは努力次第。謙虚にひたむきに、自分が自分を信じればいい

本当にやりたいことをよく考えて、欲に負けず、時間は有限なのでしっかり考えて行動してほしい。

こんなにも人生で成長できるとは思わなかったよ

場所よりも、何をすることが大切

楽しめ

学び続けて！

まあまあ友だちができます。卒業後も縁が続けられるといいよね

楽しい感謝

様々なことに挑戦してください

大学生活の中で自分自身の考えがどんどん変わっていきます。それも成長の過程と捉えて新しいことにどんどんチャレンジしてください！

コロナ禍で特に望みや華々しさを感じずに入学しこれといって目標も持たず大学生活を送っていた自分へ私はこれだけ成長しました周りの人を大切に、いつも笑顔で

入学前は不安かもしれないけど楽しいよ

一見何に役立つかわからない授業内容でも真面目に聞けばいつか役に立つ時が来ます。

自分の中で何を体験するべきか優先順位をつけて取り組むべき。そうしないと結局どれも大した経験を得られないまま終わってしまう。

社会人になってから海外に行くのはそんな簡単なことではないと思います。大学生のうちにちゃんと単位を取得していれば海外に行くチャンスは社会人より必ずあると思います。計画的にお金を貯めてぜひ行ってみてください！

先輩から特に新入生／1, 2年生の後輩へ

優等生である必要はない。言われたことはきちんとやる、言われてないことは自分で考える。それだけは必ず行ったうえで、自分のために時間を使うことがオススメです。バイトや遊びもいいけれど、読書したり旅行したり、特に大学の図書館は有効活用しましょう！周りではなく、自分と向き合い、なにか1つでも見つけられた、と思えるものを掴んでください。

大学は、何したらいいかわからないくらい色々なことができる場所だと思います。普通に生活していたら出会えないような人にもたくさん出会えます。まずはちょっと勇気を出して、気になるところに行って話の輪に入ってみてください。もし「なんか違うな」と思ったら、無理に続けなくて大丈夫です。自分が楽しいと思える場所をまた探してみてください。それは大学の先生かもしれないし、社会人の集まりかもしれないし、他大学や海外の人とのつながりかもしれません。いろんな場所を見ていくうちに、きっと自分に合う場所が見つかると思います。

自分のために使える時間がこんなにあるのは大学生の今だけかもしれません。やりたいこと、挑戦したいことはどんどんやって、実り多い大学生活にしてください！

大学の4年間は、小・中・高・で経験した数年よりもずっと短く感じます。とにかく自由！やろうと思えばなんでもできるし、やらなければ平凡で安定な4年間になります。一分一秒が今しかないことを自覚して、大切に生きて欲しい。後悔のないように！

とりあえず、なんでもやってみよう

こんなに自由な時間があるのは人生の中でそうそうないので、自分がしたいことや、時間がないと中々できないことにたくさん挑戦して楽しむことが大切

大学は自分の行動次第で、生活が決まります。自分で、積極的に行動しましょう！

中京大学は明るく活発な大学です！自分の好きなことを全力でやることを応援してくれる人がたくさんいます！自分をさらけ出して楽しんでください！

様々なことに挑戦してください

やるかやらないかを迷った際は、まず始めてみるのが大事でした。案ずるより生むがやすしと言うように、挑戦してみると助けてくれる方は沢山おり、何とかできるのでやるべきでした。

やりたいことはいつかやろうではなく、今すぐ一歩進めてください！

その時にしかできない経験がたくさんあります。逃さずいろんなことにチャレンジしてください！

大学2年生までにやりたいことはやっておくと良い

学生のうちにしかできないことをたくさんやって、たくさんチャレンジしてね

思ったよりも大学生でいられる時間は少ないということ

何かをやりたいと思ったらすぐ行動、応募しよう。調べてるだけじゃ何も進まない！

お世話になった先生へ

お世話になった先生へ

大学3年生の時に自分の夢を再確認させてくださってありがとうございました。あの時の後押しのおかげで、採用試験に向けて、筆記試験勉強や小論文、面接練習、さまざまなことを頑張れたし、自分に自信がもてるようになりました！これからも中京大生の夢を応援して支えてあげてください！先生のおかげで夢が叶う学生がこれからもっとたくさん増えますように！

家族へ

家族へ



たくさん支えてくれてありがとう。

卒業まで見守ってくれてありがとうございました。

大学に4年間通い、またこれから大学院に進学出来るのは両親のおかげです。22年間育ててくれて本当にありがとう。これからもよろしくね

これまでなんでも好きにやらせてきてくれてありがとう。家族の支えがあったからこそ今まで自分らしく生きてこれました。これからは恩返しできるように、日々目標を持って頑張ります！

いつも支えてくれてありがとう。これからもよろしく

大学まで何不自由なく通わせてくれてありがとう。

家族のおかげで何不自由なく大学生活を送ることができました

生んでくれてありがとう。育ててくれてありがとう。たくさん助けてくれてありがとう。感謝してもしきれません。私は素敵な家族の元に生まれてこれたことが幸せです。これから沢山恩返ししていく番です。長生きしてください。

ありがとう

